

令和6年度 3学期始業式

2025年、令和7年が始まりました。新年おめでとうございます。学校は、3学期のスタートです。気持ちも新たに、目標に向かってがんばりましょう。

今年は巳年、十二支の動物からは蛇にあたります。

蛇は脱皮をすることから、巳年は「復活と再生」を意味するそうです。植物に種子ができ始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になる。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われています。

今から36年前、1989年は昭和天皇がご逝去され、日本は「昭和」から「平成」という新しい時代へと移行しました。平成の幕開けは、巳年の変化の力を反映するかのようになり、戦後日本の転換点となり、新時代への期待に胸を弾ませたのです。

さて、東京女学館小学校の子どもたちにとってどんな一年になってほしいか。私の願いを書いてみます。

○実りのある一年に

時代の変化がますます激しくなっています。だからこそ、時には立ち止まって、自分をゆっくり見直し、着実に成長を確認してほしいものです。勢いよく前に進む場面と自分を見直す場面の繰り返しが、子どもの成長につながります。

○努力をする

最近の言葉「タイパ」。タイムパフォーマンスがいい、なんて使われます。かけた時間に対する効果を意味する言葉。でも、自分を高めるためにタイパばかり追ってはいけません。目標を達成するために、努力を惜しまないでほしいです。

○習慣づける

子どもの生活には、習慣をつけることが大切です。宿題をやる習慣をつける、机に向かう時間を習慣づける、お手伝いの習慣を付けるなどです。習慣づけることにより、生活が安定し、自然と学習態度や生活態度が身につくものです。

以上三つの先頭の文字をとると「みどし（巳年）」となります。皆さんにとって、思いで深く、大きく成長する一年であるよう願います。